

第6回 学校運営協議会 議事録

令和5年10月26日（木）18:30～ 図工室

○出席者確認（順不同 敬称略）

【学校運営協議会】

村上 智之	岡本 則子	森 雅順 欠	津野 幸春	吉田 健一
岡本 美子	大崎 弘和 欠	寺川 典男	武田 貴彦	竹内 恒陽 欠
宮崎 富巳	中越 あかね	下村 富彦		

【アドバイザー】

内田 純一 欠	門田 雅人
---------	-------

【地区長】

津野 幸春	松井 邦夫 欠	生田 菊代	岸田 佳代	藤田 知功 欠
武田 貴彦	村上 智之	岡田 勝幸 欠	森 雅順 欠	中平 幸広 欠
松井 利廣 欠	野島 ともえ	森岡 孝治 欠	宮崎 淑子	

【保護者等】

吉本 弥生 欠 （女性部）	大川内知子 欠 （女性部）	武田貴彦 （体育部）	吉本 宗 欠 （体育部）
------------------	------------------	---------------	-----------------

1. はじめの挨拶…(学校運営協議会 会長 村上智之)

2. 運動会の反省

○前回の会に出ていたことの確認・・・議事録で確認

○保護者会に出ていたこと・・・先日の保護者会に出ていたこと

- ・1日開催、子供たちが楽しそうだった。
- ・親子競技がもう1つほしい。
- ・椅子取りゲーム・・・やはり女性だけのほうが良い（最後に会長が椅子となるため）
もう少しコンテナから離れて歩いたほうがよい。来年度は円を描く。
- ・運動会のポスター作成を以前のように児童がするのがよい。（来年から行う）
- ・運動会の放送が、入れたが、聞こえていなかった。（番号違いで入っていなかった）
- ・今年は競技への地区の集合が早かった。特に津野さん（地区長）がよく動いてくれていた。
- ・「東」「西」「PTA チーム」で来年も行う。PTA チームには教職員と保護者が入る。西と東にも足らなければ保護者が入るようにする。

○気が付いたこと

- ・津野さんがよく動いてくれていた。参加者が積極的に出てくれて助かった。（若い人も高齢者も）
- ・「避難完了」・・・初めて参加する方が、着せ替えが分からなく、途中放送で注意されていた。事前に細かな説明が欲しかった。

- 地区の人が参加する競技は、どの協議でも説明したほうがいい。
放送でするよりか、並んでいるそばに行って説明するほうがよい。R6はそうしていく。
- 「椅子取りゲーム」 コンテナから離れて歩いたほうがいい。そのために、外側に線を引いておくとうい。本当にその通りだと思った。
- 「長いが勝ちよ」 長さのメリハリがなかった。一番長い紐に印をつけていたが、誰も引いていなかった。印をつけていると、事前に説明しておくとうかった。
- 参加者より「子供と一緒にする競技があったらよかった」と言われた。じゃんけんだけだった。
- 「じゃんけん」参加者にティッシュの1枚でもあればよかった。
「じゃんけん」で校長が前を向いてじゃんけんし、カードをあちこちさせていたが、参加している者に分かるので、今後は後ろを向いてしたほうがいい。
- 他の地域で、地区民と子供と一緒にするゲームはあるか？
「じゃんけん」で影野の運動会が盛り上がっていた。仁井田小の上級生が保育所の子供と一緒にやっていた。
東西の競技に子供が参加していたところもあった。
影野では、炊き出し（ヤキトリ、豚汁など）があった。米奥でもできたらいいと思った。
炊き出しをしているのは、地域や保護者らしい。何日かかけて夕方集まっては仕込みをしていた。
景品も保護者と地域が袋詰めしていた。
炊き出しにも保護者がかかわるとなると、難しくなるだろうという意見があった。
- 「親子リレー」、七里は1周だったので、手を抜かずに走っていた、子供は少し短い距離だった。
興津小は、親子リレーで父と母が手分けして走っていた。
- 「宝釣り」は、昨年度は学校だけでやったので、子どももした。子どももしたらよかったという意見があったが、商品代金を考慮してそうした。七里小は、学校が残るかどうか分からないので、PTA 費をできるだけ残さないように子どもに還元しようということで、どんどん使っている。
- 七里小学校は、お米の収穫をしたら、ポン菓子に来てもらったり、クリスマスには、サンタになってプレゼントを配ったりしている。
- プログラムの配布について
寄付を募るときにナンバーを付けたプログラムを配ったほうがいいと言いながら今年ではできなかったのて、来年度は、早めに競技を決めて、寄付を募るときにプログラムも一緒に配布するとよい。
- 放送が聞こえなかったのて、来年度は気を付ける。
- お楽しみ抽選会は、とても喜んでいた。来年度も実施する。

○寄付金にかかわる会計報告をした・・・別紙

3. 収穫祭・山の日の学習について

- 月日：11月18日（土） 9：30体育館で開会
- 参加者：米奥小学校児童、保護者、学校運営協議会、米奥小学校応援隊、田んぼでお世話になった方、教職員
- AM（カレーづくり）・・・女性部中心に 9：45～11：30（食事～12：55 外で）
- 昼・・・焼き芋の準備と火付けをする。

- ・PM・①学校林での活動（2時間程度）13:00～14:30

昨年度仕掛けた鳥の巣箱を見に行く、巣箱掃除・付け直し、古い巣箱の撤去。

学校運営協議会、学校応援隊、保護者などで児童について上がってくれた方で指導

②河原の清掃、シーグラス採取、石積みに挑戦 14:40～15:20（40分間）

- ・雨天の場合・・・雨天のためPMの活動が山でできない場合は、不織布の鯉のぼり作りを行う。

※事前に、岡本美子さん、岡本則子さん、野島ともえさん等に依頼しておく。

- ・事前でこのあたりでみられる鳥について説明をしてもらうなどはどうか？（当日または前もって学習
神田さんに聞いてみることにする。

聞いた結果・・・神田さんはあまり詳しくないとのことで、越知町立横倉山自然の森博物館の
学芸員、谷地森秀二さんを紹介していただき、依頼した。

11月13日（月）に来てくれて説明してくれる（決定）

- ・もし無理なら、事前に図書の本やインターネットで検索するなどして、カードをもって上がるのはど
うか？鈴木守さんで検索するとわかりやすい本を出している。

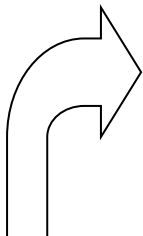
※事前に学校山の草刈り 11月18日（土） 9:30 児童玄関前集合 決定！

PTA 会長が事前にアンケートを取った・・・11月3日（4人）、11月5日（3人）

（村上会長より）当日の朝でもできるのではないかと・・・当日の朝、草刈することで決定！



決定事項：当日の朝の動き



- ① 体育倉庫の中からやぐらを出して干す
- ② 学校林に草刈りに行く
- ③ 昼食のカレー等を帰ってきてから食べる
- ④ 子供と一緒に学校林に上がって活動する

【新体育倉庫の中のやぐらについて】

- ・夏祭り後に、乾ききっていないままに片づけているのが気になる。人数がいる時に、一度出し
て乾かして入れなおしたほうがいいと思う。（当日の天気良ければ収穫祭の日にする：決定）

4. 学校から

（1）全国学力・学習状況調査について

- ・算数は全国平均を大きく上回り、国語も上回っていた結果となった。
- ・授業改善やプリント学習の充実の成果で基礎・基本の徹底ができてきた。
- ・全国学力学習状況調査などの問題の理解や、解き方の工夫について繰り返し実施した結果。
- ・米っ子タイムや、帯タイムを引き続き実施していく。
- ・家庭学習の習慣化を図っていきたい。

（2）PTA 給食試食会について・・・2月16日（金）予定

給食食後に、17日のほのぼの作品展の準備を行うので手伝ってほしい。

対象者：学校運営協議会、学校応援隊、PTA など

(3) ほのぼの作品展・・・2月17日(土)

作品を持ってきてくれる方に、事前に当たってほしい。

手作り作品、地域の昔の写真など、なんでもよい。

5、意見書について(教育長との懇談に向けて)

※第7回学校運営協議会 11月24日(金)にて話をする

・要望書に入れてほしい内容について

【昨年度の要望書の内容と、その回答のあらかた】

(1) プレハブ教室の設置

※R4の回答・・・危機管理課とともに検討していきたい。

(2) 運動場・校舎周辺の整備(夜間照明の設置と遊具の設置)

・広い運動場の整備のためシルバー人材を雇用できる予算をつけてほしい

※町の自動草刈り機を活用してほしい。シルバーの予算は他校の状況も確認して検討する。

(3) 遊具の設置

・ウッドランドやウッドウォールのような遊具の設置

・ツリーハウスが朽ちてきているため補修のための補助をしてほしい。

※ツリーハウスの補修は、にぎわい創出課とも連携しながら検討する。

(4) ソーラー設備の設置

・南海トラフ地震のさいの避難場所としても、ソーラーパネルを設置してほしい。

※夜間照明・・・小学校ではナイター設備を使用する教育活動がないため無理

(5) 教室前のスペースの土入れまたはコンクリート舗装

※状況を確認し、砕石などの活用などを含め、早めに検討する。

(6) 校門の撤去と設置

・朽ちてきて登校の際に危ないため補修をしてほしい。

※状況を確認して、早めに対応を検討する。

(7) ごみ焼却炉の早期撤去

※今年度から計画的に進める。

(8) 町営住宅の早期着工、空き家対策

※町として取り組みを進めているところ。

その他

○学校トイレ裏のマンホールの修繕

【R4年度に要望したが・・・】

○避難場所としても、洋式トイレがほしい。

○学校に入る道のところが坂になっており、草が生えるので改修してほしい。

○引き続き「養護教諭」「事務職員」の配置もお願いする。



※なかなか実現できなくても、言い続けることが大切。

6. その他

(1) 統廃合にかかわって

- ・先日、七里小学校保護者と米奥小学校保護者が話した。状況が分かる人がいれば報告を。
- ・R6年度の米奥小学校は、3月に3人卒業し、4月に2人入学してくる。(全校15名となる)

【状況説明】

- ・今までの経緯の説明をした。

R3年度に要望書を出したこと。その後話し合いをしていくとしていた。

七里小の保護者が先日アンケートを取った。残すなら学校はどちらに入るのがいいかという質問では、32世帯中、米奥小へは15件、七里小がいいは15件だった。

七里小学校から窪川小まで(15分)、七里小から米奥小まで(15分)それなら、親の仕事関係で窪川へ行かせたいと考えている。ただ、七里へ残せるなら七里がいいと思っている。



米奥でも、再度、保育所も含めて今思っていることの吸い上げをするために、アンケートを取ることにしている。

そしてアンケートで吸い上げた意見を、保護者からの意見として、町教委に伝え、回答を求める。

(会長より)・統廃合の計画は、今までに2回あった。行政はきちんと話をしていない。保護者や住民は、バスの件についてなど、どうなるか分からないので判断材料がない状態である。これが、七里の関心のなさにつながっている。そして、統合しなければ七里に残したいとしている。米奥に統合となったら、窪川に行くという人もできる。保育所から上がったら、窪川小と米奥小というように分かれることになる。この時の不安を再度聞くほうがいいと思った。

- ・保護者も世代が変わっていく。そのたびに考えていくべきだろう。1つ目のアンケートでは、学校を残すなら米奥小学校の場所がいいという意見が多かったが、今では、残せるなら七里小学校を残したいという思いが出てきた保護者が出てきている。
- ・保育所は水漏りがあり、どこから漏れているのかわからないので、毎日元栓を締めて帰っているらしい。
- ・川口小の保護者と話したら、「仕方がない」と言っていて統合決定になった。
- ・文化的施設が取りやめになったので、学校をもう一つ作ってほしい。
- ・十川と昭和は、十川にとなっていた。
- ・影野と仁井田は、影野のほうが強い。

(門田 AD) 例えば2年ごとに校舎を交代するなどの考えをもつ勇気もいるのではないか。

- ・教育行政が決められないので、2年ごとに校舎を変えるくらいの気持ちで話をするのがよい。2年ごとに移動していると、たまらなくなつて、すぐにこちらに来るようになると思う。バスについてもそうだ。

(会長) 文科省が過疎地は統合と以前言っていたのが、今では地域の実業にに応じて考えましようとなってきた。分校の考え方で行くと、下級生のうちは分校で、上級になったら本校に行く。情報がないと「もういいや」となる。アイデアを出したほうがいい。

(2) 中津川の奥の学校林について

- ・R4に大川内さんと教頭が見に行ったが、途中で分からなくなり引き返した。

- ・先日、武田さんと一緒に村上会長が行ってみた。様子が変わってきており、記憶が分からないくらい木が生え、茂って行き着かなかった。後日で直してみると行き着くことができ、植樹した木（モミジ）は、大きく成長し、すごくきれいだった。１３年前に植えたモミジの木はシカに食べられたが、植えなおした。

- ・R6 年度には、植えた当時の卒業生に声をかけて、ネットや支柱をのけにいき、山で弁当を食べてきたい。R6 年度の山の日の学習に入れる。

（３）ツリーハウスの修理について

森と緑の会にお願いして、補修費２０万円をもらうことにした。

中平健一さんが中心となって修繕する。

何人か、かまわない人は手伝ってほしい。

（４）学校の裏の木々の選定

志場さんとの土地の境が茂っているため、高さをそろえて整備する。

これは武田茂男さん中心に、ボランティアでやってもらうようにする。

7、アドバイザーより 門田先生

かなり話をしたので、ほかにはない。

8、校長より

- ・今日の会のお礼

- ・もうすぐ県展への絵が終わるので、１１月になったらこいのぼり塗りをお願いしたいことを伝える。

9、次回の会合について

11月24日（金） 18：30～ （欠席の場合は連絡をください）

内容：意見書のこと、学校評価のこと

参加者：学校運営協議会委員、学校応援隊